

■教育目的

医療・福祉系をはじめとする関連分野において、奉仕活動やボランティア活動に参加する体験を通して、人を思いやる気持ちや人のために尽くす心など、医療人に求められている人格形成を図る。さらに、地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ薬剤師の役割を理解し、地域住民の介護・福祉を向上させるために地域連携を推進し、生活環境、生活の質 (QOL) の維持・改善に尽力する。また、清瀬市三大学合同プログラムにより、看護、福祉学を志す学生と共に演習を行うことでお互いを理解し、多職種連携の基盤を構築する。これらにより、上級学年で実施される実務実習や長期コース実習への導入を円滑にすることを目的とする。【卒業認定・学位授与の方針:YD-①～⑥】

■学習到達目標

一般目標：

現場での具体的な体験もしくは看護・福祉系学生とのグループワークをすることにより、高齢者や小児など多様な人々の立場に立ちながら、医療人としての立場を理解し、社会や医療をとりまく諸問題の認識を深める。(知識、技能、態度)

到達目標：

- ①医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について具体的な体験に基づいて、自分の意見をまとめる。(知識、技能、態度)
- ②保健衛生や健康に関わる施設の業務を見聞し、社会に対して果たしている役割を具体的な体験に基づいて討議する。(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：実習予定施設のホームページ等を閲覧し、施設の概要・理念を理解する。また訪問場所や交通経路等を確認する。(60分程度)

復習：実習のレポートを書くことで、行ってきた体験の意義を再確認する。(120分程度)

■授業形態

ディスカッション・ディベート、グループワーク、実習・フィールドワーク

■授業内容

①献血施設コース、②医療・介護・社会福祉コース、③清瀬市三大学合同プログラムコース、④地域枠医療コースの4コースからどれか1つを行う。受け入れ先の施設により体験する内容・時期が異なるがどのコースも3日間行う。2年生後期の午後は原則とするが、別時期の実施もありうる(コース③、④は基本夏休み中に実施)。実習、フィールドワーク、プレゼンテーション等、アクティブラーニング形式の授業となる。

(受け入れ施設の都合により、一部内容を変更することがあります)

■授業分担者

早期体験学習・IPE 委員会 体験学習部門長、他

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：個別に連絡して意見・指導する場合がある。

成績評価方法：書類提出期限遵守やオリエンテーション、事前面談での態度(35%)、提出物内容(20%)、コース①、②、④は実習施設からの所見、コース③は各大学での演習と担当者からの所見(45%)で総合評価する。

■教科書

オリエンテーション資料、コースにより事前学習の配布物

■参考書

ホームページ等各施設の広報、体験学習報告書(明治薬科大学図書館に所蔵)